



ポートランド日本人学校だより

2016. 3. 19

第15-43号

わかば

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm>

毎週火曜日更新



本日卒業です！ 小学部卒業生



小学部6年生1組 「小学校の思い出」

<池田 大和>

ぼくの一番の思い出は友達とたくさん遊び、笑ったりしたことです。もっと友達ができることを願っています。

<梅原研太郎>

この六年間、うれしいことや、つらいこともありますが、目標だった小学校卒業もあと一月です。(一月前に書きました)

<岡本しずく>

ぼくの一歩の思い出は、友達と遊んだことです。ぼくは、いつも友達とバスケをします。友達がいて幸せです。

<小笠原 葵>

私の一歩の思い出は、応援団で友達と一緒に泊まりや練習が出来たことです。

<カーラー満里咲>

「きみも、すてきな色かくしていた。」この心に残った一文を聞くとつらい時でも、もう一回頑張りたくなります。

<菅野 美桜>

私は下級生を助けられる上級生に憧れていたもので、下級生をたくさん助けてあげられてうれしかったです。

- <小林おりい> いつも漢字が苦手だったぼくは、良い点数をそんなに取れなかったけれど、六年生になって取れるようになった。
- <小林 陽菜> 読書が好きな私は、私の好きな書き方をする作家のような文章が書けるように努力してきました。
- <小山 柚葉> 私の一番の思い出は、小さい頃から弾きたかったピアノの曲「トルコ行進曲を弾けるようになったことです。」
- <近藤 寧音> 私は何年も漢字に悩まされ、なかなか覚えられませんでした。漢字は重要なので頑張ろうと思っています。
- <関根 由暉> 私は日本では簡単な曲ばかり弾いていましたが、今年バッハピアノコンクールで入賞して成長したと思いました。
- <名古屋夕芽> 私は現地校の初日に、ある女の子に出会いました。その子は右も左も分からずにいる私を助けてくれました。
- <宮内実乃美> 『努力したと思うこと』この学校に来た頃、日本語が下手でした。それで音読の練習をしてきました。音読を聞いてくれた父に感謝します。
- <山口 真夏> 私の思い出は、赤組の応援団になって、みんなで暑い外で頑張ってダンスを練習して、赤組が勝ったことです。
- <山本 稜馬> 私の一番の思い出は、前の学校で劇を行う時、セリフや演技を覚え、最高の劇を作ったことです。
- <渡邊 珠愛> 六年の夏に応援団に入って、友達と毎日上達するのは、何よりもうれしい気分でした。次の運動会が楽しみです。
- <久保日菜梨> 私の思い出は修学旅行に行き、たくさんの経験をしたことです。友達の大切さに改めて気づく事が出来ました。
- <平井 暖士> ぼくが、努力したことは漢字です。六年生になって漢字は大切だとさらに実感しました。これからも頑張ります。

卒園・卒業おめでとうございます！

102名の卒園児及び卒業生の皆さん！卒園・卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様、お子様のご卒園、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。本日、ポートランド日本人学校で学力維持を目指した厳しい学習をやり抜き、見事に卒園・卒業を手にした子ども達は、幼稚部39名、小学部35名、中学部17名、高等部11名の合計102名です。子ども達は現地校の勉強と土曜日の日本人学校の勉強の両立で大変苦労したと思います。「よくここまで努力した。」と拍手を送ります。この貴重な日本人学校での経験をこれからの学習や生活に生かして行って頂きたいと思います。



小学部6年生2組 「小学校の思い出」

- <鮎澤マシュー> 六年間教えてくれた先生.遊んでくれた友達.ありがとうございました。中学生になったら、漢字をもっと頑張ります。
- <新井 佳菜> 六年生で色々なことを学びました。六年生が終わって、次は中学生。胸をふくらませて頑張りたいです。
- <大石めぐみ> 一年生の時に、先生がこわくて、びくびくしていました。そんな私も、四月からは中学生。もうびくびくしません。
- <大下 美苑> 六年間日本人学校に通っていて、様々な経験をしました。いつも私を支えてくれた人々に感謝の気持ちを送りたいです。
- <大竹 媛子> 長い六年間の小学校生活も終わり、これから始まる中学校生活でも色々なことに挑戦していきたいと思います。
- <沖 啓太> ぼくは日本人学校に通った二年間を忘れません。中学に入ったら、勉強といろいろな活動を両立できる事を目標にします。
- <ガドロー愛子> この六年間、毎週土曜日、友達に会うのをとっても楽しみにしていました。中学校も頑張っていきたいと思います。
- <白川みらん> 幼稚園から七年間、テストで悪い点数を取っても、応援してくれた友達があります。中学校でも、頑張りたいと思います。
- <タニー啓成> ぼくは、スポーツで日本人学校に行けなかった日もあったけど、友達といい思い出をいっぱい作れたので楽しかったです。
- <豊田 恵み> 私にとって日本人学校に来る日々はとても楽しかったです。今年は友達もいっぱい来て、良かったと思います。

- <西岡 健人> この六年間、本当に楽しかったです。そして、ぼくは今年卒業します。今まで自分を支えてくれた人々に感謝しています。
- <長谷川俊輔> ぼくは、四年生の時初めてここに来ました。日本人学校の先生は、本当にいい先生でした。ありがとうございました。
- <早川 光生> ぼくは、この日本人学校で会った先生を忘れることはないと思います。今まで会った先生、ありがとうございました。
- <彦坂明日香> 中学生になっても、今まで小学生の時学んだことを活かして、何事にも取り組んでいこうと思います。
- <福井 美都> この学校の授業や宿題は厳しかったけど、色々な人に会ったり、友達がたくさん出来て楽しかったです。
- <村木 杏梨> 六年生になり、アメリカに来てから国語が今までよりもっと好きになりました。これを生かして中学生でも頑張りたいです。
- <植村 直斗> この学校では二か月しか過ごしていないけど、授業や遊び時間などは楽しかったです。

退職者紹介！

この春、今年度末をもって2人の先生が退職されることになりました。

山本 学 先生：小学部6年2組の担任

平松 敦子 先生：高等部1年の担任、高等部国語科担当

のお二人の先生です。お二人の先生ともに児童生徒の健全な成長を願いながら、熱心に学習指導や生徒指導に当たられました。目を閉じると、それぞれの先生方の授業風景が浮かんできます。いつも優しく、いつもわかりやすい授業を心がけていただきました。先生方の今後のご活躍とご多幸をお祈りいたします。

退職のご挨拶

山本 学

今年度を持ちまして退職することになりました。小学校の教員は初めての経験で、すべてのものがとても新鮮に映ったのが印象的でした。一年間と大変短い間でしたが、子供たちの純粋さにいつも心を洗われる思いでした。小学校から大学、さらに社会人の方たちと、教育の場を通して接する機会を頂いた経験は、これからの人生の大きな財産となっていくことと思います。この度を持ちまして、長年携わってきた教育の現場からしばらく離れることになりそうですが、一度社会に揉まれ、一回り大きくなって、何かの形で教育の現場に恩返しができることを願っております。一年間、ご指導ご協力を頂きました皆様、素敵な笑顔くれた生徒に心より感謝を申し上げます。

退職のご挨拶

平松 敦子

一年間、高等部の国語を担当させて頂きました。生徒たちは皆優秀で礼儀正しく、各行事では不慣れな私を助けてくれました。生徒たち一人一人に感謝するとともに、今後の活躍をお祈り申し上げます。また、短い間でしたが、ご支援下さいました保護者の皆様にも心より感謝申し上げます。

